パンのある幸せな食卓を 88

継続は力なり

文 木村安兵衛 text by Yasube Kimura

継続は力なりとはよくいったもので、下手でも諦めずに続けていれば多少の芽は出てくるようであります。私の鉄砲もその類に入るのかもしれません。

鉄砲を持って初めて知ったのですが、どうも私の利き目は左眼のようであります。利き目の判別は何かを見て、指で輪を作りその対象物を囲む、徐々に目に近づけると利き目の前に指の輪がやってくるので試してみてください。右半身で銃を構え、左目で的を見ていると、弾は全く当たりません。周りの人が簡単に当てている中で自分だけが当たらないと悲しくなってくるのであります。

そんな私にあるオファーが舞い込んできました。今までは料理が主体でパンは脇役なのですが、パンを主役にして料理を合わせる食事会をやりませんか？というものでした。もちろん即答で快諾しました。料理について打ち合わせをしている際にジビエについて紹介すると、いつの間にかパンとジビエの会に変更されているのでありました。

食材がなければ料理が作れないというプレッシャーに押しつぶされそうになりながら、手と眼が逆のヘッポコ猟師は山に入るのでした。本日の狙いは鴨。歴史的な寒波が日本列島を襲っております。暖かいと鴨は山奥の寒いところに引きこもってしまうのですが、寒いと人里まで下りてきてくれます。雪が散らついてくれると田んぼの用水路のような小さい小川に隠れてくれるので、鴨日和となるのでした。

土曜日、日の出とともに若手猟師達と隊列を組み、川をのぞこうとした瞬間、一斉に鴨が飛び立ってしまいました。慌てて引き金を引くのでしたが、当たらずに鴨は悠々と飛び立ってしまうのでありました。鴨は眼も良いのですが、音にも敏感。雪の上をズボズボ歩く音に警戒して飛び立ってしまうのです。その後鴨は獲れるのですが、コガモばかりです。

コガモはとてもおいしい鴨で昭和天皇が鴨を召し上がるときは決まってコガモだったという噂があるほどです。しかし、コガモというだけあってサイズが小さい。今回は30人分の鴨のリエットを作れる分の鴨が必要なのです。

日曜日、土曜日よりも寒く雪が降っているものの天候は最高。参加人数も絞り本気猟の雰囲気をまとった夜明けとなるのでした。参加人数が少ないため、足音も小さく、雪が音を消してくれます。鴨はのんきにグワグワ鳴いております。小川をのぞき込むと大きな鴨の群れが慌てて飛び出してきます。大きな鴨は飛び立つ初速が遅いので、その一瞬が狙い目です。

当たりました！丸々と太ったおいしそうな鴨です。その後も行く川、用水路で鴨が獲れます。何だか急に鉄砲が上手になったような気分になってきます。

継続は力なり。なんとか無事に食事会分の鴨は収穫できたのでありました。

Profile

1969年生まれ。慶應義塾大学法学部卒業後、千代田生命保険相互会社に入社。その後アメリカで唯一のFDA（米国食品医薬品局）研究機関である米国立製パン研究所へ留学、ベーキングサイエンスを研究する。ニューヨーク、フランスにて修業を積んだ後、その腕前と経営センスを見込まれ、エリック・カイザーの在日パートナーとして、2000年に株式会社ブーランジェリーエリックカイザージャポンを設立。
2001年メゾンカイザー1号店として東京・高輪に店舗をオープンし、2020年現在41店舗を数える。